

皮膚白癬はくせん

《ほかの人にうつるので、早めの治療が必要》

皮膚の感染症で圧倒的に数が多く、やかいなのが白癬です。白癬は、白癬菌というカビの感染で起こります。白癬菌は、手足や爪に入りこみ、皮膚の表面などの組織に好んで寄生します。感染初期は症状が無いことが多く、しかも白癬菌は治療に対して抵抗性を持つています。そのため、感染部位によっては治療が困難になることもあります。

皮膚白癬の頻度は高く、人口の4人に1人は足白癬、8人に1人は爪白癬であることが報告されています。病型は感染部位で分類され、足白癬、爪白癬、生毛部白癬、頭部白癬などと呼ばれます。

水疱型は、足の裏や側面に小水疱、膿疱が出来ます。角質増殖型は、かかとを中心に足の裏の皮膚が厚く硬くなるのが特徴で、かゆみはあまりありません。一度に複数の症状に感染する場合もあります。

爪白癬は足に多く、爪の先端が厚くなり、白く濁り、もろくなるのが特徴です。

生毛部白癬は股部などに生じるもので、大きな輪状の紅色の皮疹になる頑癬型と、小さな斑点が多発する斑状水疱型があります。毛穴に入り炎症を起こすこともあります。

頭部白癬は、新型が最近柔道選手などの間で流行したこともあり、注意が必要です。

白癬の診断は患部を診察して行います。感染箇所から採取した皮膚を顕微鏡で観察し、菌を見つけて確認します。

皮膚表面の白癬の治療には、効果の高い外用薬(軟膏など)

が用いられます。しかし抗真菌剤(抗カビ剤)が刺激となつて炎症を起こす場合もあります。軟膏を塗つても症状が改善されない場合には、薬が合わないことが考えられるので医療機関で相談してください。

爪白癬や頭部白癬などで外用薬による治療が困難な場合、殺菌作用が強く、皮膚の組織内に長く留まる成分を含んだ内服薬が用いられます。しかし薬の相互作用の問題があり注意が必要です。薬局や医療機関で確認してください。

皮膚を清潔にしておくことで菌の住みにくい環境を作ることが出来ます。汗やほりなどはきれいに洗い流しましょう。また白癬菌は乾燥を嫌うので、入浴後などは乾いたタオルでしっかり体をふくことで感染を予防できます。

(原稿 今市医師団)

元気予報

②



休日急患こども診療所

ところ 今市保健福祉センター内(日光市平ヶ崎 109)
 診療日 日曜日、祝日、振替休日(年末年始は休診)
 診療科目 小児科
 ※入院を必要としない比較的軽症のお子さんの患者が対象です。
 診療時間
 昼間…午前9時～正午(受付 午前11時30分まで)
 午後2時～5時(受付 午後4時30分まで)
 夜間…午後7時～10時30分(受付 午後10時まで)
 電話番号 ☎ 30-7299(診療日のみ)

こども医療費受給資格者証

こども医療費受給資格者証の加入保険欄には、申請時の保険情報を記載しています。加入している保険や住所に変更があった場合は、新しい保険証と受給資格者証を持参して変更届を提出してください。変更届は、各地域の担当窓口においてあります。

くわしくは 今市保健福祉センター ☎ 21-2756
 日光総合支所健康福祉課 ☎ 54-1110
 藤原総合支所健康福祉課 ☎ 76-4105
 足尾総合支所健康福祉課 ☎ 93-3111
 栗山保健センター ☎ 97-1141